

投資事業
エアトリCVCLレポート
Vol.5

～社会貢献を目指す～

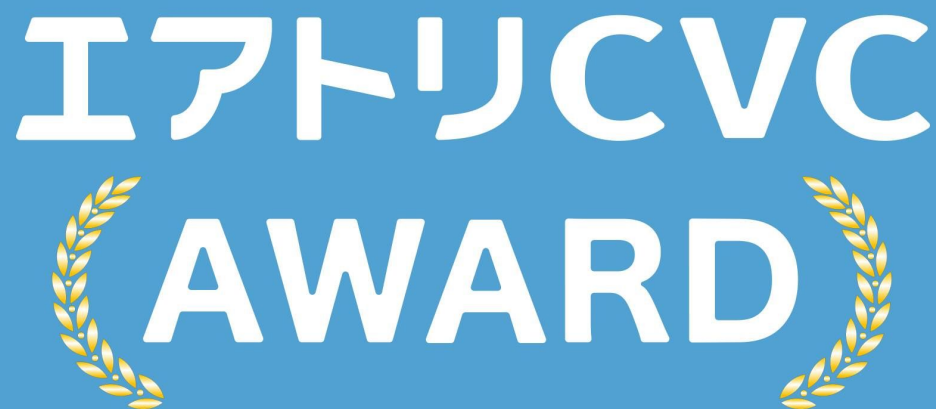
株式会社エアトリ
東証プライム:6191
2023/7/3 公表

エアトリ

1. エアトリCVCアワードについて
2. 投資方針
3. 投資実績
4. 回収実績
5. IPO実績
6. 投資先の状況
7. 新規投資先の紹介

・本資料は、主に半年に一度実施している投資先面談の内容に基づいて作成しております。

2023年3月2日(木)にエアトリCVC初のイベント 『エアトリCVCアワード2023』が大盛況のもと、開催されました！



【第一部】 ピッチコンテスト結果

1位: Cuebus株式会社 (<https://cuebus.jp>)

2位: 株式会社NOW ROOM (<https://fukuri-kousei.nowroom.jp>)

3位: タッチスポット株式会社 (<https://ceoclone.com/touchspot>)

【第二部】 表彰式(出資先を4部門にわたって表彰)

売上成長部門: 株式会社アルゴリズム (<https://algorithms.co.jp/>)

利益成長部門: 株式会社ウィルゲート (<https://www.willgate.co.jp/>)

資金調達部門: 株式会社 Zehitomo (<https://www.zehitomo.com/>)

エアトリ賞 : アップセルテクノロジーズ株式会社 (<http://upselltech-group.co.jp>)

IPOの蓋然性が高い成長企業への投資を実行

幅広い投資領域で投資を実行し、上場経験豊富な経営陣によるメンタリング、投資先のリアルな経験に基づく見識の提供、事業支援、管理体制構築支援などIPOに必要な支援を実施

投資方針

- 成長企業への投資を通じて、投資先企業の企業価値向上によるリターンを得ること及び投資先企業との協業等によるシナジー追求、エアトリ経済圏の拡大を目指しております。
- 投資事業はエアトリグループ主要6事業の1つであり、日々のモニタリングに加え経営陣自ら半年に一度の投資先面談を実施するなど力をいれています。
- 「事業の成長性及びリターン確度」「エアトリ経済圏とのシナジー」「経営陣及び管理体制」を重視して、IPOの蓋然性が高い企業へ投資しております。
- 投資領域はエアトリ経済圏の将来的な拡大を企図して、幅広い分野への投資を実行しております。
- 経営陣のネットワークを活用することに加え、他のVCや金融機関等と連携をすることにより、幅広いルートから有望な新規投資先の発掘を行っております。

強みと支援体制

メンタリング

＜上場経験豊富な経営陣によるメンタリング＞

- ・エアトリを立ち上げマザーズ上場、東証一部上場、子会社上場、関連会社上場を実現した経営陣によるメンタリング

見識の提供

＜投資先のリアルな経験等に基づく見識の提供＞

- ・上場準備の過程で直面したハードシングスなどの投資先のリアルな経験、エアトリグループの上場準備経験等に基づく見識の提供

事業支援 ・ 調達支援

＜売上、マーケティング、開発、資金調達など幅広い支援＞

- ・エアトリ会員へのサービス提供などの連携やエアトリグループ会社のリソースを活用したソフトウェア開発における協業
- ・資金調達支援として、他のVCや金融機関等をご紹介

管理体制構築支援

＜管理体制構築に必要な紹介、アドバイス等＞

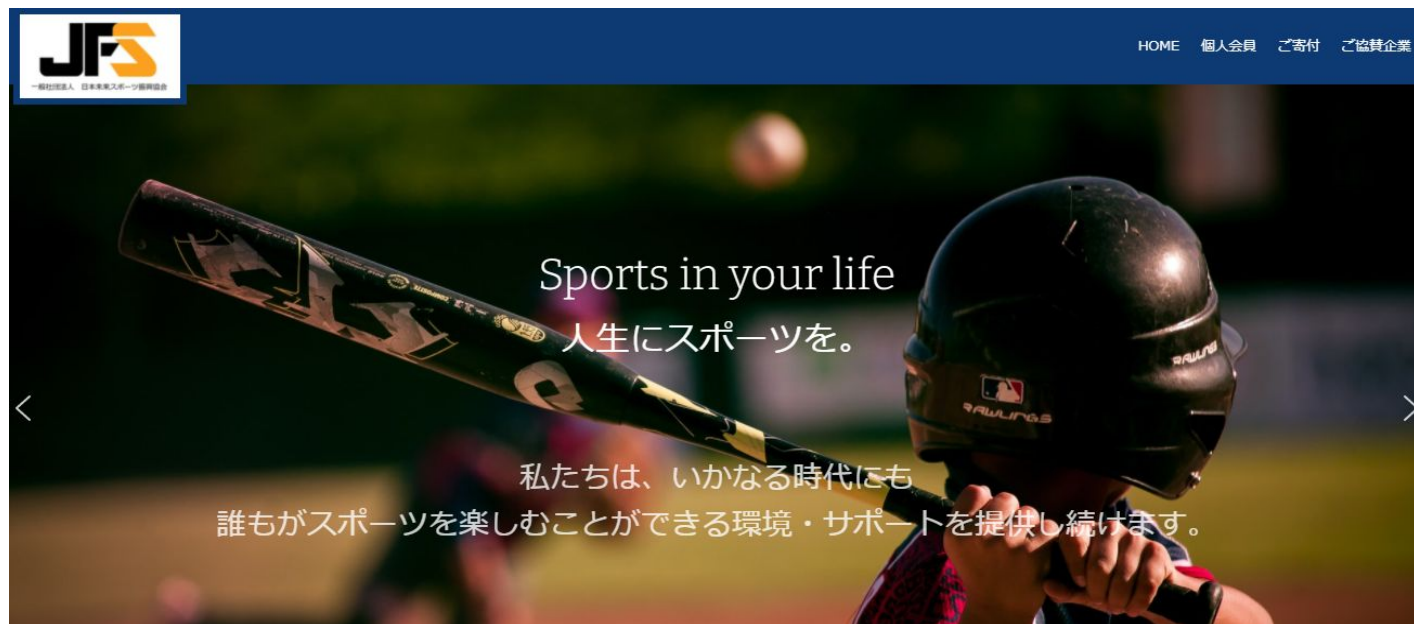
- ・主幹事証券会社、監査法人のご紹介
- ・ショートレビュー対応のアドバイス
- ・管理体制構築に関するアドバイス

＜子会社上場・関連会社上場を実現 / 上場準備中の子会社＞



IPOやM&Aが実現する毎に日本未来スポーツ振興協会へ寄付を実施

SDGsへの取り組みおよび社会貢献として
一般社団法人 日本未来スポーツ振興協会への寄付を実施
今後も投資事業を通じて継続した社会貢献を目指してまいります。

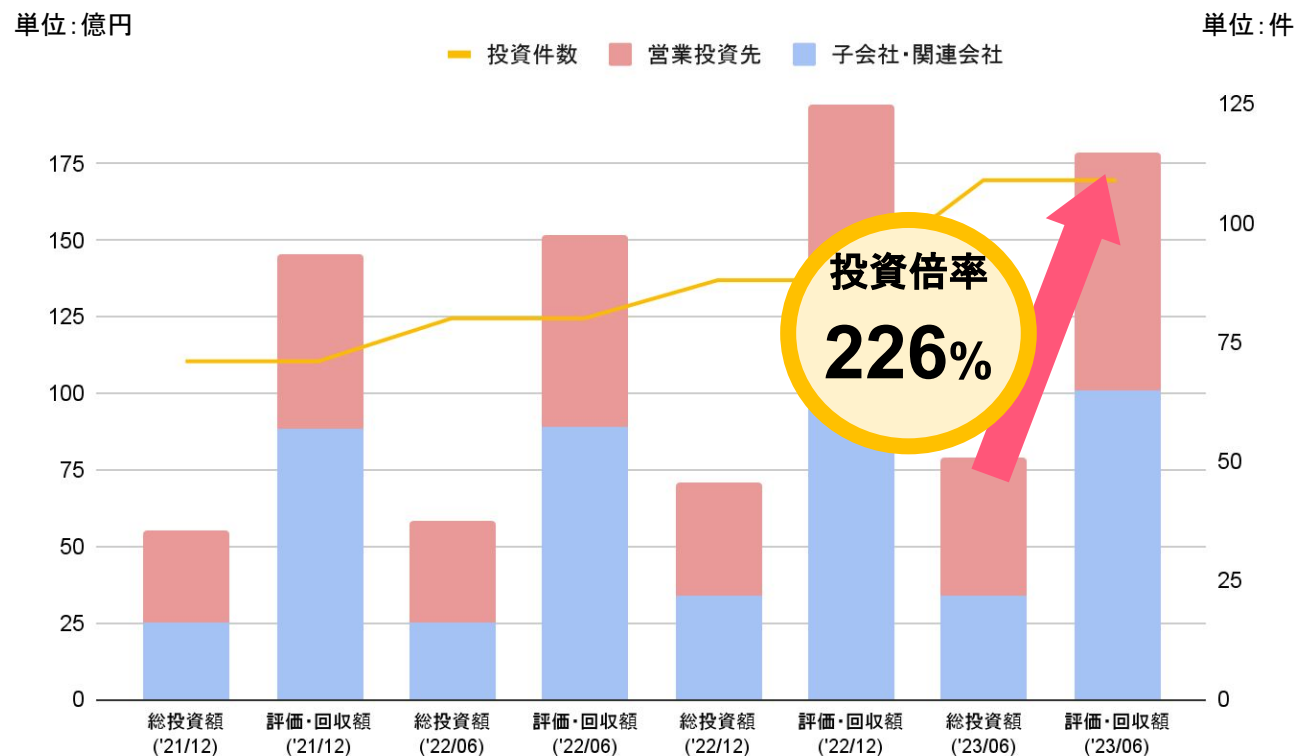


■一般社団法人 日本未来スポーツ振興協会 <https://jif-sports.or.jp/>

当団体は、各家庭における経済的事情・環境的な事由により、スポーツに取り組むことが難しい子どもたちが、手ぶらで気軽にスポーツに親しめる環境を整えるため、無償で用具の提供を行っております。誰もがスポーツを楽しむ環境づくりをサポートし、年々減少し続ける国内スポーツ競技人口の増加と共に、一人ひとりの豊かな人格形成と成長を目指しています。

IPOを目指す子会社・関連会社含めた総投資は109社/79億円 回収済・直近評価額合計は178億円と堅調に推移

＜総投資額及び評価・回収額実績＞



営業投資は2017年から105社、45億円を投資

IPOを目指す優良ベンチャー企業を中心に、2017年から約5年で105社45億円の投資を実行。投資先の資金調達等により、直近評価額は79億円と堅調に推移。

子会社・関連会社4社、34億円を投資

子会社上場・関連会社上場を実現/上場準備中の子会社4社への投資額は34億円。上場株式の株価変動の影響を受けているが、直近評価額は101億円と引き続き堅調に推移。

回収・直近評価額の合計は178億円、倍率**226%**

EXIT済みの投資回収額及び保有株式の直近評価額の合計は178億円。投資額79億円に対する倍率は226%と、堅調なTVPI(投資倍率)を確保。

※投資額の合計にはまぐまぐ・ハイブリッド以外の上場株式、ファンドへの投資は含まれていない

※回収・直近評価額の合計は、売却済株式の売却額と保有株式の評価額の合計

Copyright © AirTrip Corp. All Rights Reserved.

※上場子会社、上場関連会社については5月末の株価で集計 Vol.4 改訂版から、子会社1社を追加し4社を集計

IPO及びEXITで資金回収済みの金額は23億円 回収済案件投資額6億円に対し**390%**のリターンを回収

<IPO及びEXIT案件回収額実績>



投資先IPO12社及び株式譲渡EXITで23億円を回収

IPO及び株式譲渡によるEXITにより、23億円回収、390%のリターンを実現。前回公表時から投資先IPOによるEXITが1件増加。

回収不可と判断した案件は数社

- 会社清算等：2社
 - ・株式会社テクニークコンサルティング(本社：東京都中央区、代表取締役兼CEO：佐藤吉広)
 - ・LS株式会社(本社：東京都中央区、代表取締役：梁 穎希)
- 休眠：2社
 - ・株式会社ダズル(本社：東京都渋谷区、代表取締役CEO：山田 泰央)
 - ・CMN株式会社(本社：福岡県福岡市博多区、代表取締役：山下 恵助)

投資先IPO実績は12社(うち子会社上場1社・関連会社上場1社) 毎期継続的にIPO実績を積み上げ



上場



プライム・ストラテジー
【東証スタンダード:9250】2023年2月上場
公募46億円、初値103億円



メンタルヘルステクノロジーズ
【東証グロース:9218】2022年3月上場
公募60億円、初値84億円



ハイブリッドテクノロジーズ 関連会社上場
【東証グロース:4260】2021年12月上場
公募49億円、初値78億円



ラストワンマイル
【東証グロース:9252】2021年11月上場
公募46億円、初値68億円



ROBOT PAYMENT
【東証グロース:4374】2021年9月上場
公募69億円、初値139億円



ヘッドウォーターズ
【東証グロース:4011】2020年9月上場
公募20億円、初値263億円



まぐまぐ 子会社上場
【東証スタンダード:4059】2020年9月上場
公募22億円、初値92億円



サイバーセキュリティクラウド
【東証グロース:4493】2020年3月上場
公募92億円、初値212億円



AI CROSS
【東証グロース:4476】2019年10月上場
公募38億円、初値69億円



ブランディングテクノロジー
【東証グロース:7067】2019年6月上場
公募24億円、初値77億円



ピアラ
【東証プライム:7044】2018年12月上場
公募76億円、初値175億円



和心
【東証グロース:9271】2018年3月上場
公募44億円、初値125億円

※公募価額ベース時価総額及び初値価額ベース時価総額は当社試算

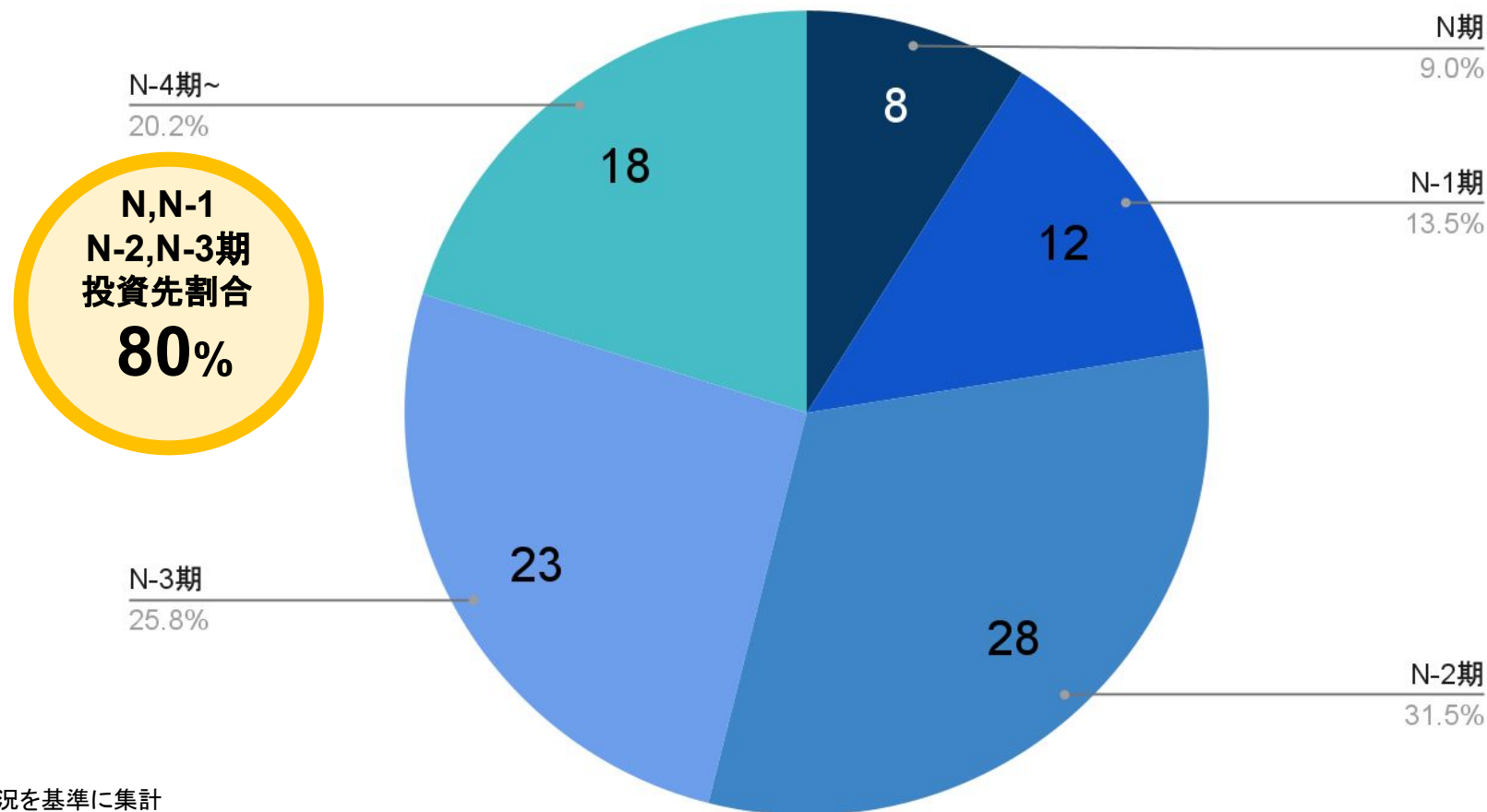
成長領域への積極投資を継続 累計営業投資先105社 総投資額約45億円

※2023年6月時点



※上記集計から当社子会社・関連会社への投資合計4社、総投資額34億円は除いております。

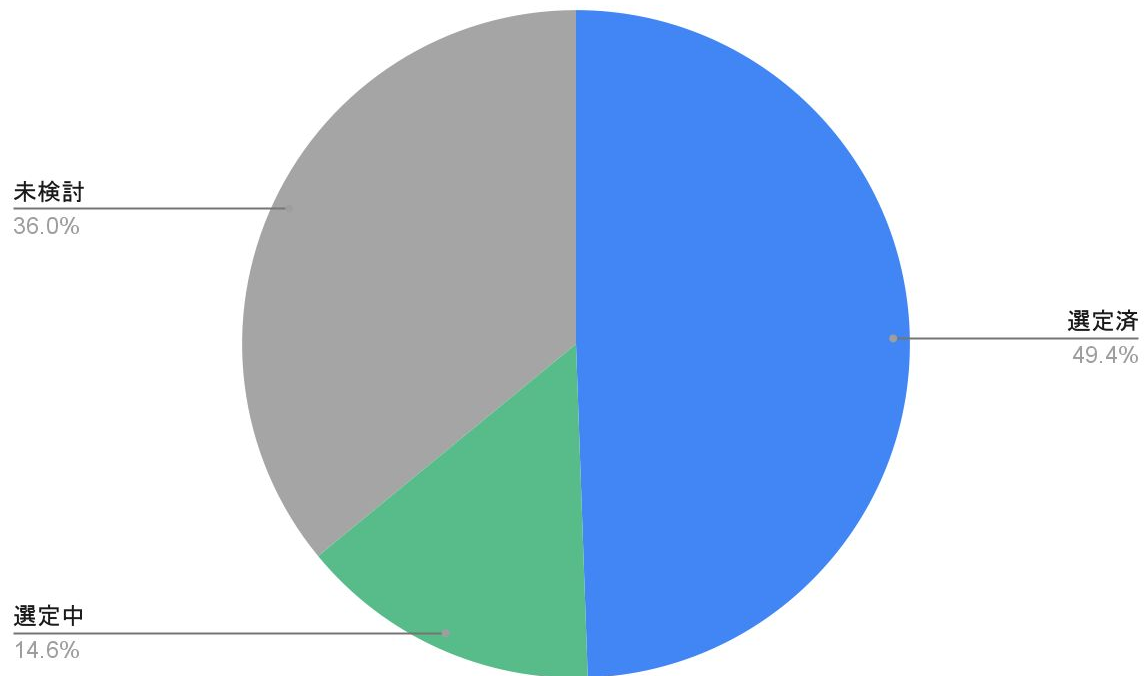
N-3期まで進捗している投資先の割合は80% 今後、每期複数社のIPOを見込む



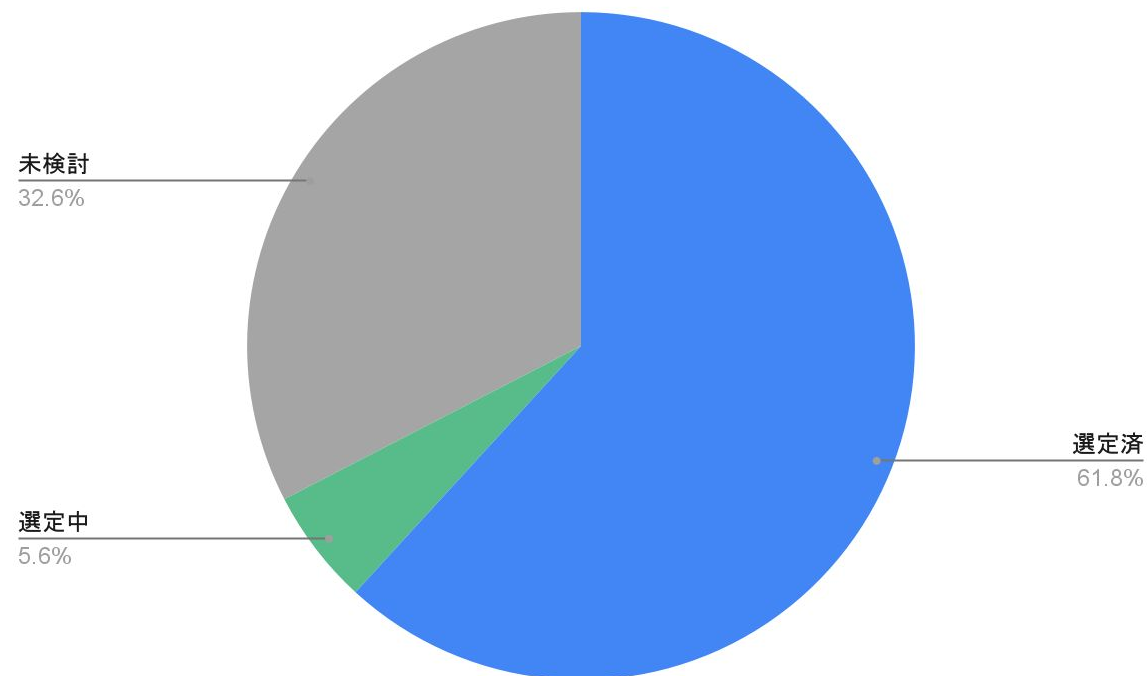
※円グラフ内の数値は社数
※2023年7月1日時点の見込み状況を基準に集計

半数超の投資先がIPO準備で重要な 主幹事証券及び監査法人を選定している

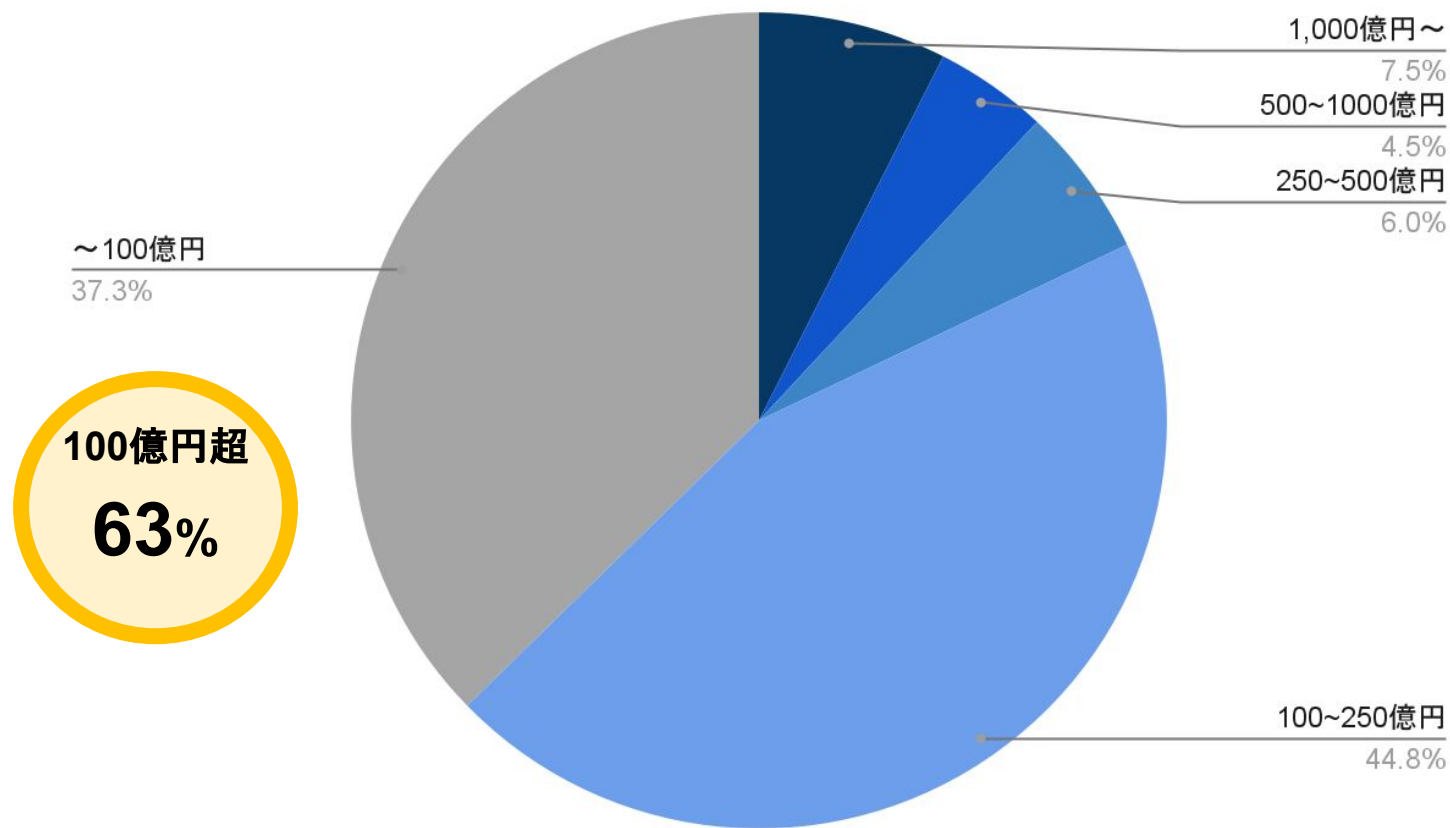
主幹事証券の選定状況



監査法人の選定状況



グロース市場へのIPOの中央値を超える IPO時の時価総額100億円超を目指す投資先は63%



※2021年マザーズ市場(≒現グロース市場) IPO想定公募価格ベース時価総額の中央値が約 100億円(当社集計)

※想定公募価額が未検討の会社を除外して集計

Copyright © AirTrip Corp. All Rights Reserved.

前回レポート以降の新規投資先は14社 有望な新規投資先を継続的に発掘・投資



bravesoft株式会社 (2023年1月出資)
代表取締役 菅澤 英司
【URL: <https://www.bravesoft.co.jp/>】
イベントプラットフォーム「eventos」を提供



ICS-net株式会社 (2023年1月出資)
代表取締役 小池 祥悟
【URL: <https://www.ics-net.com/>】
食品原料のWeb売買プラットフォーム「シェアシマ」を運営



株式会社TRAYD INNOVATION (2023年1月出資)
代表取締役 玉城 偉光
【URL: <https://traydinnovation.jp/>】
売り手企業に寄り添ったワンストップ FAサービスを提供



株式会社いえメン (2023年2月出資)
代表取締役 高田 真彰
【URL: <https://done.delivery/>】
フードデリバリーの一括検索アプリ「done!」を展開



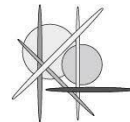
株式会社フライヤー (2023年2月出資)
代表取締役 大賀 康史
【URL: <https://www.flierinc.com/>】
本の要約サービス「flier」を運営



バリュークリエイション株式会社 (2023年2月出資)
代表取締役 新谷 晃人
【URL: <https://value-creation.jp/>】
マーケティング DX事業を中心に事業展開



HRクラウド株式会社 (2023年3月出資)
代表取締役 中島 悠輝
【URL: <https://hr-cloud.co.jp/>】
クラウド型採用管理システム「採用一括かんりくん」を運営



株式会社KOLテクノロジーズ (2023年4月出資)
代表取締役 池田 和泉
【URL: <https://kol-tech.co.jp/company/>】
インフルエンサーマッチングサービス「Bee(ビー)」と余剰在庫を販売するECサイト「サステナモール」を運営



株式会社シーピーティー (2023年4月出資)
代表取締役 若村 和明
【URL: <https://cbtinc.jp/>】
クラウド型プロジェクト収支管理システム「プロカン」を展開



株式会社ストラテジー・アドバイザーズ (2023年5月出資)
代表取締役 藤田 勉
【URL: <https://www.strategy-advisors.co.jp/>】
ESGの総合コンサルティングを展開



株式会社ビジュアライズ (2023年6月出資)
代表取締役 安達 弘明
【URL: <https://www.visualize.co.jp/>】
メタバース空間でビジュアル&コミュニケーションおよびゲームなどを展開



H.I.F.株式会社 (2023年6月出資)
代表取締役 東小蘭 光輝
【URL: <https://www.hifcorp.co.jp/>】
AIと信審査技術の開発と提供及び同技術を用いた Fintechサービスの提供



株式会社ABCash Technologies (2023年6月出資)
代表取締役 児玉 隆洋
【URL: <https://company.abcash.co.jp/>】
個人向け金融教育サービス「ABCash」の運営



株式会社FUNDiT (2023年6月出資)
代表取締役 廣瀬 寛
【URL: <https://fundit.jp/>】
IT領域に特化したM&Aとロールアップを行う事業投資会社

※bravesoft株式会社、ICS-net株式会社、株式会社TRAYD INNOVATION、株式会社いえメンは、前回のレポートでも投資件数に含めておりますが、再掲しております。

イベントプラットフォーム「eventos」を提供する bravesoft株式会社と資本業務提携

会社概要



会社名:bravesoft株式会社

事業内容: イベントプラットフォーム「eventos」の運営

設立: 2005年4月4日

代表者: 代表取締役 菅澤英司

資本金: 5億5,000万円(資本準備金含む)

URL: <https://www.bravesoft.co.jp/company/>

「eventos」概要



eventosはオンラインイベント・リアルイベント双方に対応可能なイベントの公式 WEB・アプリを短期間で作成、公開可能なプラットフォーム

イベントWEBサイト・アプリの立ち上げ、参加申込から受付管理、ガイド情報やアンケートなど様々な機能を活用頂け、プログラミングの知識不要で管理画面(webページ)からブログ感覚で情報更新が可能です。

コロナ禍も追い風となり、オンラインでのイベント参加が身近になった影響もあり、「eventosで開催されたイベントの体験人数」が 300万人を達成。

食品原料のWeb売買プラットフォーム 「シェアシマ」を運営するICS-net株式会社と資本業務提携

会社概要

ICS-net
International Connection Service

会社名:ICS-net株式会社

事業内容:食品原料のマッチングサービス「シェアシマ」の運営

設立:2017年8月21日

代表者:代表取締役 小池祥悟

URL:<https://www.ics-net.com/>

「シェアシマ」概要

シェアシマ

「シェアシマ」は、食品原材料のバイヤーとサプライヤーを繋げる B2Bマーケットプレイス

食品メーカーが使用する原材料の情報を Webで共有することで、食品原料の新しい流通のカタチを提案しております。

シェアシマの特徴は以下の3つ。

- ①無料利用・原料検索ができる
- ②チャット形式で気軽に問い合わせができる
- ③食品業界の有識者が登壇するオンラインセミナーに無料で参加できる

売り手企業に寄り添ったワンストップFAサービスを提供する 株式会社TRAYD INNOVATIONと資本業務提携

会社概要



会社名: 株式会社TRAYD INNOVATION

事業内容: 売り手企業専門のワンストップM&A支援サービス

設立: 2021年9月28日

代表者: 代表取締役 玉城偉光

資本金: 7,000万円(資本準備金含む)

URL: <https://traydinnovation.jp/company>

強み

オークション式M&A

TRAYD INNOVATION社は「日本を事業承継の先進国にする」をビジョンにかかげ、バリューアップコンサルティング FAサービス、オークション手法 FAサービス等の事業売却に向けたFAサービスをワンストップで提供

売り手企業に寄り添うパートナーとして、売却戦略の立案・長期のコンサルティング支援をワンストップで提供することにより、出口戦略に関する売り手企業のあらゆる悩みとバリューアップに貢献するとともに、オークション手法の FAサービスにより売り手企業の利益を最大化して、顧客にとって理想の M&Aの実現を目指します。

顧客ニーズに合わせたサービスとマーケティングノウハウにより、20万社の買い手ネットワークを持つ。

フードデリバリーの一括検索アプリ「done!」を展開する 株式会社いえメシと資本業務提携

会社概要

done!

会社名:株式会社いえメシ

事業内容:done!の企画・開発・運営

設立:2021年4月8日

代表者:代表取締役 高田真彰

資本金:2047万円

URL:<https://done.delivery/>

「done!」概要



「done!(ダン)」は、フードデリバリーを横断検索して注文できるアプリ

サービスごとに異なる料金や時間を一括で比較し、ユーザーにとって最適なデリバリーを提案します。

2022年8月12日の正式版リリースから、対応都道府県も13まで増加し、MoMで200%超の成長を維持しています。
年内には全国対応を予定しており、サービスのアップデートを繰り返しながら、更なる成長へ向けて邁進しております。

本の要約サービス「flier」を運営する フライヤー社と資本提携

会社概要



会社名: 株式会社フライヤー

事業内容: 本の要約サービスflier(フライヤー)を運営

設立: 2013年6月4日

代表者: 代表取締役 大賀康史

URL: <https://www.flierinc.com/>

「flier」概要



累計会員数100万人を突破した「本の要約サービス flier(フライヤー)」を運営。「ヒラメキ溢れる世界をつくる」をミッションに、ビジネス書の最新刊や話題のベストセラー、名著の要約を1冊10分で読める形で提供。

「flier(フライヤー)」は良書との出会いを促進する読書サービスです。スキマ時間を有効活用し、効率良くビジネスのヒントやスキル、教養を身につけたいビジネスパーソンに利用されているほか、社員教育の一環として法人契約する企業も増えています。

マーケティングDX事業を中心に事業展開をする バリュークリエーション社と資本業務提携

会社概要



会社名:バリュークリエーション株式会社

事業内容:マーケティングDX事業、デジタルメディア事業、不動産DX事業

設立:2008年4月1日

代表者:代表取締役 新谷 晃人

資本金:34,000千円

URL:<https://value-creation.jp/>

広告プラットフォーム「Vasta(ヴァスタ)」概要



メイン事業のマーケティング DX事業では、WEB広告マーケティングにおける企業のデジタル広告プランの戦略立案から、運用代行、クリエイティブの作成、レポート、分析・改善までを一気通貫で提供するトータルマーケティングサービスを提供。

Vasta(ヴァスタ)は、ソーシャルメディア特有のデータを生かし、Webプロモーションにおける認知から獲得までの行動データを一元管理できるツール。

デジタルメディア事業では、自社運営メディア「Mola」を運営、不動産DX事業では、不動産解体のマッチングサイト「解体の窓口」を運営しており、マーケティング DX事業で蓄積したノウハウを活用し複数事業を展開。

クラウド型採用管理システム「採用一括かんりくん」を運営する HRクラウド社と資本業務提携

会社概要



会社名:HRクラウド株式会社
事業内容:HRテック事業
設立:2014年4月2日
代表者:代表取締役 中島悠揮
資本金:3億3,161万円
URL:<https://hr-cloud.co.jp/>

「採用一括かんりくん」概要



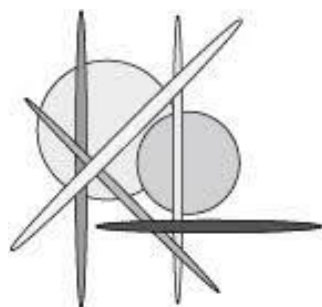
クラウド型採用管理システム「採用一括かんりくん」は、700社以上の導入実績を誇る使いやすい採用管理ツールです。

LINEとの連携も開始し、採用場面における求職者様、採用媒体、企業様を繋ぎ、説明会・採用チームのタスク進捗・選考・内定・結果分析など、採用活動に付随する管理すべきポイントを一括で管理することが可能です。

採用担当者のみなさまが採用コア業務に集中するための機能を備えながら、直感的に操作できるシンプルさが評価されています。

インフルエンサーマッチングサービス「Beee(ビー)」と 余剰在庫を販売するECサイト「サステナモール」を運営する 株式会社KOLテクノロジーズと資本業務提携

会社概要



会社名:株式会社KOLテクノロジーズ

事業内容:ECサイト運営、AIマッチングプラットフォーム開発・運営

設立:2020年7月9日

代表者:代表取締役 池田和泉

URL:<https://kol-tech.co.jp/>

「Beee・サステナモール」概要



インフルエンサーマッチングサービス「Beee(ビー)」と余剰在庫を販売するECサイト「サステナモール」を運営するサステナブル企業です。

「Beee(ビー)」とは、発信力を持つインフルエンサーと、商品やイベントの体験談を発信してほしい企業様を、AI(人工知能)の技術でマッチングする最先端のサービスです。

「サステナモール」とは、テクノロジーの力で「好き」と商品をつなげ地球上のあらゆる商品ロスに0にするECプラットフォームです。サステナブルなセレクトショップとして、廃棄コストが掛かる余剰在庫をリーチできていなかった層に届けることで、販売利益や地球への貢献へ繋げることを目指しております。

クラウド型プロジェクト収支管理システム「プロカン」を展開するシービーティー社と資本業務提携

会社概要



会社名: 株式会社シービーティー

事業内容: プロカン販売事業、プロキャス販売事業

設立: 2020年3月

代表者: 代表取締役 若村 和明

資本金: 1億4,000万円

URL: <https://cbtinc.jp/>

「プロカン」概要



「プロカン」とは、プロジェクトごとの収支管理に特化したクラウド型（SaaS型）の基幹業務システム（ERPパッケージ）です。案件担当者・経理担当者が「見やすく」「使いやすい」UIで、受注後の原価・予実管理から経理業務まで、煩雑な収支管理をカンタンに見える化します。

従来のERPパッケージは高価な製品が多いため中小企業への導入が進まず、多くの中小企業はエクセルでの収支管理を行っており、効率的な経営管理に課題を抱えております。こうした課題に対し「プロカン」は、プロジェクト収支管理に特化した中小企業向けのクラウド型サービスとして、映像制作・SP事業者・制作会社を中心に、約1年で100社を超える企業が契約・導入をしており、広告・Web業界、各種制作会社、コンサルティング業界など、外注費が発生する様々な業界でビジネスの成功を支えます。

ESGの総合コンサルティングを展開する ストラテジー・アドバイザーズ社と資本業務提携

会社概要



Strategy Advisors

会社名:株式会社ストラテジー・アドバイザーズ

事業内容:資本市場コンサルティング、調査レポート発行、研修

設立:2022年6月1日

代表者:代表取締役社長 藤田 勉

資本金:533百万円

URL:<https://www.strategy-advisors.co.jp/>

強み



ストラテジー・アドバイザーズ社は、「優れたコーポレートガバナンス」で社会と調和しながら株主を中心とするすべてのステークホルダーの利益を最大化することを目的とした、ESGの総合コンサルティング会社です。

資本市場コンサルティング、ESGコンサルティング、研修の3つを主要な事業としており、特に、研修(経営・財務戦略、ダイバーシティ、人的資本経営など)をベースとして、企業価値の向上と株価上昇のためのコンサルティングを企業に提供しております。

メタバース空間でビジュアル&コミュニケーションおよび ゲームなどを展開する株式会社ビジュアライズと資本業務提携

会社概要



会社名:株式会社ビジュアライズ

事業内容:Web/クライアント型のソフトウェア開発・サービス運営

設立:2003年11月4日

代表者:代表取締役 安達弘明

URL:<https://www.visualize.co.jp/>

「ViSUALIVE」概要



2003年に設立され、現在まで多数のWeb/クライアント型のソフトウェア開発・サービス運営を行ってまいりました。

「アーティストの作ったアーティストのためのプラットフォーム」として、EC統合型ライブ配信サービス『ViSUALIVE』を提供しています。

クライアント・アプリ型二つのメタバースを同時にビルド可能な基本エンジンの開発及び提供、また、そのエンジンを利用した音楽を中心軸に置いたWeb3.0サービス提供を進めています。

AI定性・与信審査サービス「二十一式人工知能付自動与信審査回路」を運営するH.I.F.株式会社と資本業務提携

会社概要



会社名:H.I.F.株式会社

事業内容:AI審査技術の開発と提供、同技術を用いたfintech(債権回収、請求代行)事業

設立:2017年11月

代表者:代表取締役 東小園 光輝

URL:<https://www.hifcorp.co.jp/>

「二十一式人工知能付自動与信審査回路」概要

二十一式人工知能付自動与信審査回路

「適切な人にお”金”が”融”通される社会を創る」というミッションのもと、独自のAI定性・与信審査モデルを用いた与信スコアリング、資金調達、売掛金保証、家賃保証サービスや法人版BNPLなどの金融サービスを提供している企業です。

従前の与信審査で評価される「財務状況」に加え、「定性的特徴」「コンプラリスク」「経済動向」「取引リスク発生実績」をAIモデルに学習させ推論することで、大手から新興企業・個人まで幅広く評価が可能な与信審査技術です。

およそ2.6万件の債権買取り実績データの活用により、業界平均デフォルト率1.08%に対し、H.I.F.は1/10の0.05%と、圧倒的に低い水準を誇ります。

「お金の不安に終止符を打つ」をミッションに掲げ、 お金のトレーニングスタジオ「ABCash」を運営する ABCash Technologies社と資本業務提携

会社概要

ABCash Technologies

会社名:株式会社ABCash Technologies
事業内容:個人向け金融教育サービス「ABCash」の運営
設立:2018年2月2日
代表者:代表取締役 児玉隆洋
URL:<https://company.abcash.co.jp/>

「ABCash」概要

ABCash

お金のトレーニングスタジオ

「お金の不安に終止符を打つ」をミッションに掲げる、金融教育ベンチャーです。

「お金の不安」をなくし、豊かな人生を送れるきっかけを提供するため、2018年6月より個人向け金融教育サービス「ABCash」を展開し、中立的なサービスを提供しています。

「ABCash」は、パーソナル講師が1人1人に合わせてトレーニングメニューを提案し、家計管理～資産形成に必要な金融リテラシー習得をマンツーマンで伴走サポートするサービスです。

IT領域に特化したM&Aとロールアップを行う事業投資会社 FUNDiT社と資本業務提携

会社概要



会社名:株式会社FUNDiT

事業内容:中小型IT事業のM&Aとロールアップ

設立:2021年11月16日

代表者:代表取締役CEO 廣瀬 寛

URL:<https://fundit.jp/>

強み



FUNDiT社は、スタートアップ企業に対するExit機会を提供するとともに、買収後のオペレーション改善によるバリューアップを図っていくIT領域専門の事業投資会社です。中小型Webサイトを中心とするIT事業への買収・バリューアップを主軸事業に据えつつ、IT事業領域に特化したM&Aプラットフォームの構築を進めてまいります。投資時の見極めや運営効率化を成功させるIT事業の専門家集団は、IT事業の取得・マネジメントを強みとしており、前年比収益50%以上アップ、コスト50%以上ダウンの実績がございます。

エアトリ

- ・本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- ・これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- ・当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- ・本資料における将来展望に関する表明は、利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではございません。